

平成26年度 当初予算（案）

主な事業の説明書

市立大曲病院

.....目

次.....

款 項 目 大 事 業	ペ ー ジ
市立大曲病院事業	10-1

事 業 説 明 書

款 項 目 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 市立大曲病院 管理課

(施策の大綱) 保健・医療の充実

(施策) 地域医療体制の充実

(基本事業) 医療機能の強化

【事業名】 市立大曲病院事業				
【説明項目】 市立大曲病院事業会計について				
収益的収支	【26年度】	886,363千円	【25年度】	1,000,264千円 【増減】 ▲113,901千円
資本的収支	【26年度】	119,405千円	【25年度】	108,421千円 【増減】 10,984千円
1. 事業の目的				
市民の健康保持に必要な医療の提供を行う。 精神科的症状を呈する患者に対し、適切で良質な医療の提供を行い、安定した療養生活の継続や、自立・社会復帰を支援する。				
2. 事業の目標（数値目標）				
標榜科目・・・精神科、神経科、（内科）				
病床数・・・120床（一般精神病棟70床、認知症病棟50床）				
入院及び外来診療の実施（年間取扱患者数）				
・入院・・・41,610人（1日あたり114人）				
一般精神病棟・・・24,820人（1日あたり68人）				
認知症病棟・・・16,790人（1日あたり46人）				
・外来・・・15,376人				
外来・・・14,884人（1日あたり61人、244日）				
訪問看護・・・492人（1日あたり4～5人、週2～3日）				
3. 事業の概要				
精神科病院として地域医療の充実を図りながら、効率的な病院経営を行う。				
入院に関しては、一般精神病棟、認知症病棟ともに在院日数の長期化対策を念頭に、新規の入院患者の受け入れに努めるとともに、総合病院と老人介護施設との中間に位置する病院として、患者の受け入れを行う。				
外来に関しては、在宅支援の観点からの訪問看護・指導や、ものわずれ電話相談も含め、さらなるサービスの向上を目指す。				
【収益的収支予算】				
病院事業収益	886,363千円			
医業収益	655,789千円（うち入院578,820千円、外来73,369千円）			
医業外収益	230,574千円（うち一般会計負担金229,428千円）			
病院事業費用	886,363千円			
医業費用	844,540千円			
医業外費用	40,323千円			
予備費	1,500千円			
【資本的収支予算】				
資本的収入	0千円			
資本的支出	119,405千円			
（収入額が支出額に不足する額は、過年度損益勘定留保資金で補てん）				
4. これまでの成果と今後の方向性				
・大仙市及び周辺地域にとって必要な精神科病院となっており、今後もより充実した医療サービスの提供に努める。				
・平成26年度から、外来での薬の受け取りを院外処方へ移行することにより、病棟における薬剤業務（薬剤指導・管理）の充実を図る。				
《H25年度事務事業評価における内容》				総合評価 （今後の方向性）
現在、うつ病や認知症など精神科医療の需要が高まっており、今後もこのような傾向は続くことが見込まれる。				現状のまま 継続
引き続き、収入の確保と費用の削減に努めながら、充実した医療サービスを提供することにより、患者とその家族をサポートする必要がある。				
5. 財源内訳				
（単位：千円）				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
886,363			656,935	229,428
119,405			119,405	